

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 学校評価アンケートの学習活動における評価が4.3と高く、先生方の熱意が伝わってくる。中学校で登校できなかった生徒が意欲的に活動できているようで、中学校でも参考にしたい。 資格取得は生徒にとって大きな自信となる。引き続き前向きな指導で合格者を増やしてほしい。</p> <p>(2) 特別活動 文化を考える集いに招かれた内子町のゆるやか文庫というものを初めて知った。よい試みだと思う。 少人数のよさを生かし、積極的に体験的な活動を行うことができている、うらやましく感じた。</p> <p>(3) 生徒指導 日常生活の声掛けや担任による個人面接は温かい人間関係、雰囲気の中で継続していただきたい。 学習活動で、コミュニケーション活動に課題のある生徒が少なくないが、学校生活のさまざまな場面でまず挨拶からはじめてはどうでしょう。</p> <p>(4) 進路指導 職業人を招いての座談会(卒業生などもおもしろい)、会社説明会などの取組も貴重ではないか。 定時制・全日制間で教職員の協力体制ができあがっていることを知り、心強く思った。</p> <p>(5) 人権・同和教育 人権啓発課のDVDの利用は有り難い。社会教育指導員を派遣することも可能である。 いじめ・体罰認知件数が0であることは素晴らしい。アンケート等を使って万一一いじめがあっても、早期発見と早期指導に努めてほしい。</p> <p>(6) 保健管理 きちんとした食事、栄養バランス、運動の習慣化は極めて重要だと思う。基本的な生活習慣が身についた生徒を一人でも増やしてほしい。学校内での健康管理と感染症対策の徹底に努めてほしい。</p> <p>(7) 安全管理 災害が多発している現状に対応できるよう、生徒の安全を第一に考えた上で、防災対策の周知徹底に取り組んでほしい。</p> <p>(8) 特別支援教育 校内委員会や校内研修会が年間推進計画に基づいて適切に行われている。今後も、生徒に声掛けするなどして状況を把握し、それぞれの生徒のニーズに応じた指導がなされるようお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の生徒の習熟度を把握し、生徒が意欲的に活動できる学習環境を整えたい。特にコミュニケーション、表現、会話を重視した教科の充実を図りたい。 ・ 各種検定への取組を今後とも継続したい。 ・ 生徒たちが積極的に参加できる環境を教職員全体で考え、整えていく。 ・ 学校内外を問わず、様々な人々や機関と連携を密にし、新たなものを取り入れて活動を充実させていく。 ・ 担任だけにとどまらず、教科担任による面談や声掛けを行う。また、教師間の連携、保護者との連携を深め、より深く温かい生徒理解に努める。 ・ 教職員や生徒会を中心に挨拶の輪を広げていく。 ・ 様々なコミュニケーションの方法を活用し、心と心のつながりを深める。 ・ 講演会や座談会、会社説明会等の開催を検討し、キャリア教育の充実を図りたい。 ・ 全日制と連携した取組を引き続き行いたい。 ・ 人権啓発課のDVDを引き続き活用し、社会教育指導員の派遣も検討したい。 ・ いじめや差別の未然防止、早期発見に継続して取り組む。 ・ 健康教育のほかにも、食や睡眠、運動と健康の関係性を周知させるよう取り組んでいき、健康の保持増進に努めたい。 ・ 家庭や就業先で被災した際にも、落ち着いて行動できるよう災害に対する備えを徹底させていきたい。 ・ 特別支援教育に関する情報の共有に努め、教職員の特別支援教育に対する理解を更に深めたい。また、生徒の実態に適した個別の対応策を実施できるように、関係諸機関等との連携を深めたい。

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>(9) 研修 コミュニケーションの苦手な生徒にとって、ICT機器は有効に使えるのではないと思う。ICTに慣れ親しむことは大事だと思うが、ノートを取ること、対面で発表しあうことなど、従来のやり方にもこだわっていただきたい。</p> <p>(10) 保護者との連携 学校経営において最も重要なポイントの一つが「保護者との連携」だと思うが、保護者対象のアンケートで高い評価を得ている。教育活動がうまくいっているのは、この点が大きいのではないかと。 家庭訪問や個人面談以外でも、生徒のよいところ、頑張っているところを何らかの方法で家庭に伝えていただきたい。</p> <p>(11) 業務改善 先生方が、元気で気持ちよく働かれることが、生徒の健全育成につながる。今後も様々な視点から業務改善をお願いしたい。</p> <p>2 重点目標について 9割以上の出席率はすばらしい。中学校ではほとんど出席できなかった生徒も多い中で、学校の体制、個々の先生の関わり方がこのような結果につながっていると思う。また、県総体上位入賞及び各種資格取得者多数と、生徒たちの積極的な取組がうかがえる。明確な目標を持ち、それに向かって努力してきた成果といえよう。今後も、生徒と教員が人間的な触れ合いをもって社会性を育み、目標達成を目指してほしい。</p> <p>3 説明・公表について ホームページの更新や「八定だより」の毎月の発行など、学校生活を可視化できることが、情報発信や生徒理解につながっている。学校見学が多かったのは、落ち着いた少人数教育が評価されてきているのではなか。</p> <p>4 その他（学校運営についての要望） コロナ禍の中、活動に大きな制限があり、大変な1年であったと思うが、様々な工夫により、更なる教育成果が上がることを期待している。 毎月の俳句選句は良い取組であると思う。今後も、このような特色ある取組を実践してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ICTを活用する場面、生徒と向き合い対話する場面など、臨機応変に対応し、生徒を主体とした活動ができるよう研修に取り組んでいきたい。 • 普段から保護者との連絡を密にし、家庭との連携に努める。また、更に家庭と情報交換できるように、保護者が来校する機会を増やす。 • 定時制は、少人数の職員による校務運営であるため、業務の均等化や引継ぎを念頭に、全職員で協力して業務を行うという更なる意識の高揚と体制の強化を図りたい。 • 少人数の利点を生かし、個に応じた授業ができるように工夫し、基礎・基本の定着を図りたい。また、自分の意見の表現が苦手な生徒にも、発表方法や場面設定を工夫し、表現力及び社会性の育成に努めたい。 • 更に生徒、地域、保護者が興味を抱くような情報発信に努め、本校定時制の正しい情報が伝わるようにし、地域の要望に応えられる学校を目指したい。 • 様々な状況に対応できるよう、授業や学校行事の運営においてICTを活用し、効果的な教育実践に努めたい。また、コロナ禍における保護者の学校行事への参加の工夫も検討したい。また、俳句選句や資格取得の推進など、今後も魅力ある取組を実践したい。